

中学校の例

○前期・後期のリズムを生かすことについて

小学校の例

月	3学期制	2学期制
4	始業式	始業式
5	テスト	自然教室 校外学習
6	修学旅行 校外学習	テスト 修学旅行
7	管内大会	管内大会
8	夏休み 8/31日まで	夏休み 8/31日まで
9	始業式	テスト
10	テスト 体育大会	体育大会 終業式
11	文化の集い	テスト
12	終業式	文化の集い
1	冬休み 始業式	冬休み 始業式
2	3年テスト 私立入試	3年テスト 私立入試
3	1・2年テスト 卒業式 公立入試	1・2年テスト 卒業式 公立入試
	修了式 春休み	修了式 春休み

・長期的なスパンで教科等の指導計画ができます。  
 ・教科書(小)は、上下2部構成が多く、前期後期の区切りに合わせた学習計画を立てることができます。  
 ・生徒会、児童会は前後期制で、区切りに違和感ができません。  
 ・長期休業を含め長いスパンで目標をもつことができます。  
 ・行事や体験的学習は、2学期制のリズムが定着してきました。

学年や学級のスタートとなる活動が天候のよい時期にできます。

学期末のまとめがなく、7月末の実施も可能です。好天で宿泊施設も空いていて日程調整もできます。時間のゆとりもあって事前学習が充実します。

○授業時間数の確保について

・始業式などの回数が少なく、その時間を授業に当てています  
 ・長いスパンでの2学期制により、行事の工夫や改善がしやすくなっているので、授業時間数の確保につなげています。

○長期休業の活用について

・学期途中に長期休業を挟むので、学習に対する継続意識が維持できます。また、保護者にも学期途中の学習状況をお伝えすることで、10月・3月の学期末に向けて各自の学習を補うという点で家庭学習の充実が見られます。  
 ・学校では、前期の学習を補うため、数日間の勉強会や学習支援を実施しています。

○学習指導などについて

・2学期制では、じっくりと子どもたちの努力や成長を見取ることができる点が大きなメリットです。日常の評価を積み重ね、より多くの観点や資料をもとに判断することができます。  
 ・総合的な学習も含めて、教科以外の行事も2学期制へと展開されており、深みのある指導へと広げられています。  
 ・定期テストに比重がかからず、評価のための資料を充実させることができます。  
 ・中学校では3学期制の場合、年間17～18時間の授業で3回の評価をすることとなる教科もあります。

3学期制の学校と時期をずらして実施ができ、講師の招聘や会場などの日程調整がしやすくなっています。

○進路指導について

・長いスパンで生徒の学習状況を見ることができるので、より確実な評価ができます。  
 ・3学期制では、12月のテスト後という余裕のない進路指導になります。2学期制では、10月の成績から2か月かけて体験入学や見学等を入れながら、じっくりと時間をかけて指導することができます。

以上のように、諸行事や学習において、2学期制のリズムやメリットを踏まえ充実した学校生活を計画することができます。中学校の進路指導のあり方については、生徒に2期制のリズムに合わせた指導を継続し、保護者にも十分な説明を継続します。

2学期制	3学期制	月
始業式	始業式	4
遠足	遠足	5
修学旅行	修学旅行	6
野外学習	野外学習	7
夏休み 8/31日まで	夏休み 8/31日まで	8
運動会	運動会	9
終業式	終業式	10
始業式 遠足	遠足	11
学芸会 市音楽会	学芸会	12
冬休み	冬休み	1
卒業式	卒業式	2
修了式	修了式	3